

## 健保財政の健全化へ皆さまのご協力をお願いいたします!

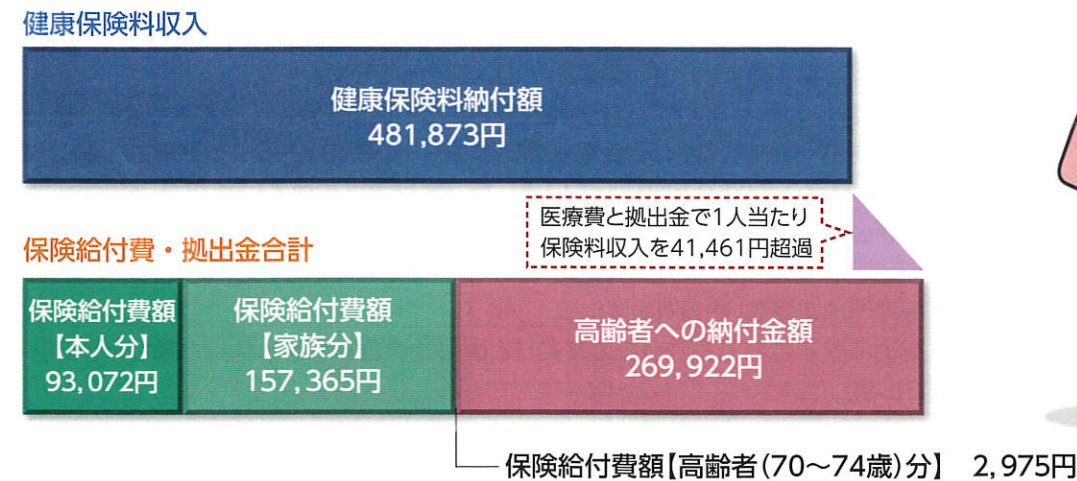
平成26年度も皆さまの医療関係費と国への拠出金を合わせると保険料収入の109%と支出オーバーの状態です。

**健保財政を助けるのは皆さまのちょっとした心遣いからです!!その事例をご紹介します。**

- (1) ジェネリック医薬品を活用してみる。(ご家庭のお薬代の節約。)
- (2) 医療機関への受診・薬局での処方営業時間内にする。(急病以外での深夜・休日受診は控える。夜間や早朝、日曜・祝日などにかかる追加料金が付き割高。)
- (3) 複数の医療機関へのハシゴ受診や、今必要のないお薬(置き薬代わり)のお願いはやめる。
- (4) 受診前にセルフチェックしてみる。(気軽なコンビニ受診やとりあえずの受診は控えてみる。あとでもらった薬を「ゴミ箱へポイッ!」なんてことはありませんか?)
- (5) セルフメディケーションの実践。(ストレッチ体操、OTC医薬品・常備薬の活用など自分でできる予防策。)
- (6) 日頃の生活習慣の見直し。(少しの生活習慣改善が大きな病気の予防に繋がることもあります。)

皆さまのできることから、できる範囲でご協力ください。

### 組合員1人当たりの保険料と保険給付費・納付金支出



### 介護保険予算

皆さまから納付いただいた介護保険料は、国に指定された負担額を国庫に納めています。納めた介護保険料は介護保険の運営者である全国の市区町村に配分され高齢者の介護の費用として使われています。

介護保険料率は、平成26年度は1.4%と前年度同率となりました。

介護保険予算総額 3億5300万円			
	収入	支出	
介護保険料収入	3億2,300万円	介護保険納付額	3億4,800万円
前年度繰越金	3,000万円	その他支出	500万円

### 平成26年度予算概要(各種基礎データ)

介護保険料率=1.4%	平成26年度予算適用状況
事業主=0.7%	介護保険対象者 5,474人
被保険者=0.7%	介護保険納付対象者 3,960人
	平均標準報酬月額 376,200円
	平均賞与額 730,000円

# 平成26年度予算のお知らせ

厳しさを増す健保財政にご理解をお願いします!!

第156回ダイハツ系連合健康保険組合【2月28日(金)開催】において平成26年度予算が承認されました。

全国の健保組合の財政は、継続的な医療費の増加と高齢者のための国への重い拠出金負担のため、危機的状況が続いています。

前年度(平成25年度)は、事業主・組合員の皆さまに健康保険料率の10%への改定(0.5ポイント引上げ)により、負担増をお願いしました。

平成26年度は、各種財政施策を講じると共に、更なる自助努力を行い**10%の保険料率を維持**します。

しかし、膨らみ続ける医療費と高齢者のための国への拠出金負担は更に増加し、健保財政は破綻の危機に直面しています。

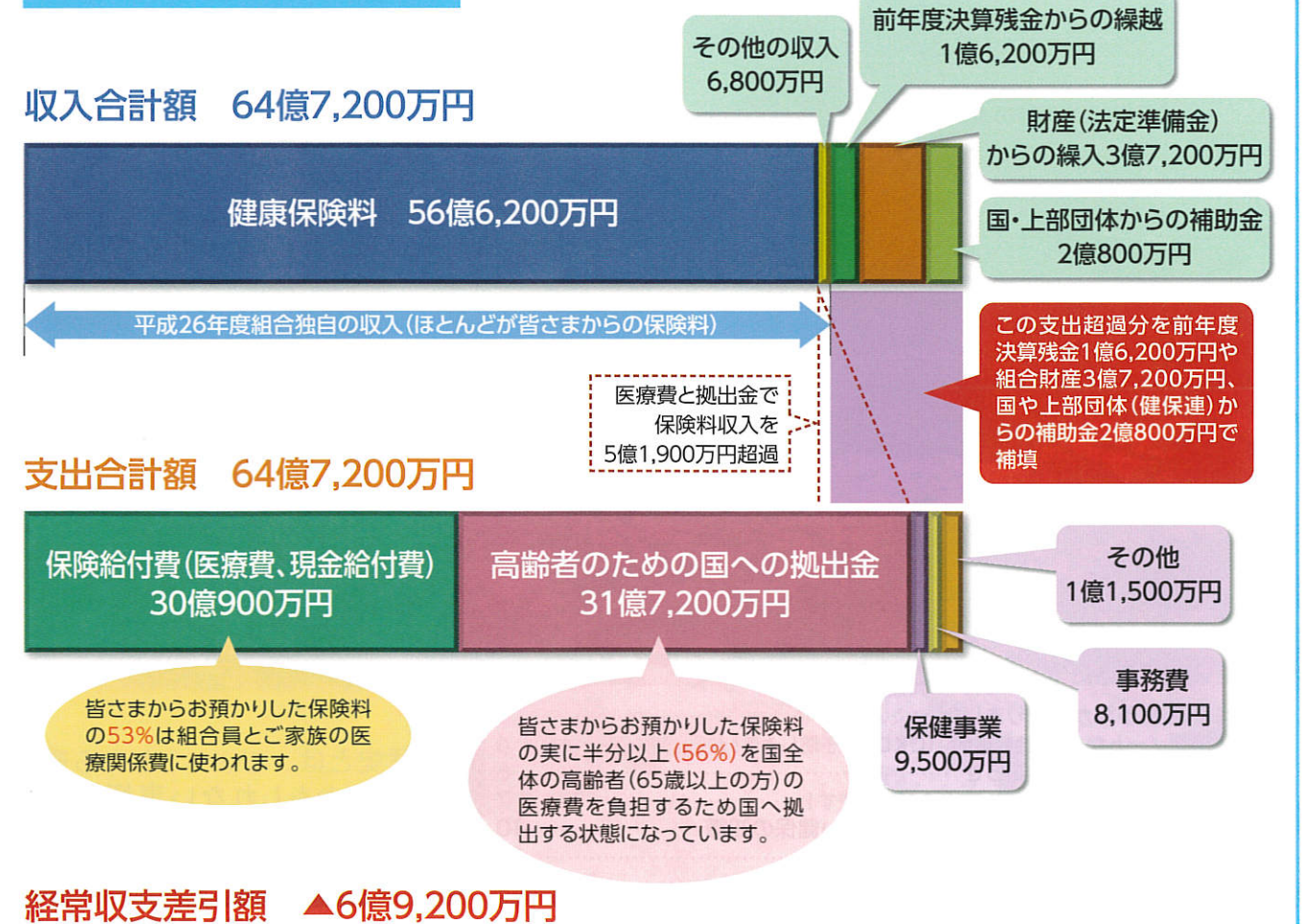
支出が収入を大きく上回り、大切な組合財産の繰入や上部団体(健保連)からの補助金により収支バランスをとる予算編成となり、**6億9,200万円もの経常赤字額**が見込まれます。(全国の健保組合の約90%が経常収支赤字であり、当組合同様の状況に苦しんでいます。)

国の医療制度改革が進まない中、今後も厳しい財政状況が続くことが予想されます。

事業主の皆さま、組合員の皆さまにおかれましては、引き続き健保組合へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



### 健康保険予算



### 平成26年度予算概要(各種基礎データ)

健康保険料率=10%	平成26年度予算適用状況
事業主=5.39%	年間平均被保険者数 11,750人
被保険者=4.61%	平均年齢 36.68歳
	平均標準報酬月額 319,600円
	平均賞与額 578,000円